



SPORTS CAM SHAFT 取扱説明書

商品番号 : 01 08 0149
 適応車種 : PCX
 フレーム番号: JF28 1000001 ~
 日本国内正規販売車

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
- ・ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解した上でご使用下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

特 徴

ノーマルエンジンに取り付けるだけで中、高速域の出力がアップします。
 また、弊社製マフラーを取り付ける事により更なる出力アップが可能です。

！空燃比についてのご注意！

弊社製マフラーと同時に使用されますと空燃比が適正値とならず、エンジン破損の可能性があります。必ず弊社製 F I .CON を同時に装着して下さい。

！デコンプについて！

デコンプを取り付ける場合は純正カムシャフトの分解、プーラー、プレス等の特殊工具が必要になります。
 デコンプを取り付けない場合でも使用上問題はありません。
 また、デコンプを取り付けられた際、アイドルストップモード作動時にノーマルカムより大きい作動音がする場合がありますがカムプロファイルの違いに因るものですので異常ではありません。

注意 下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・点検、整備は、定期的に行って下さい。(点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。
 (損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。)

警告 下記内容を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
 (そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。
 (一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行って下さい。
 (不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
 クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ 商 品 内 容 ～



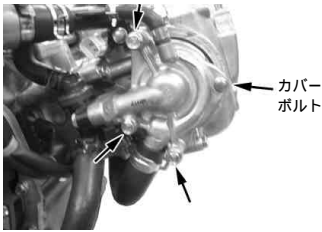
品 名	個数
カムシャフトCOMP.	1

～ 取 り 付 け 要 領 ～

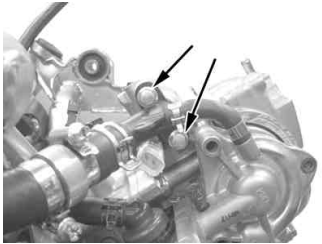
カムシャフトの交換作業にはエンジンの脱着作業が必要になります。
純正サービスマニュアルを参照して冷却水の排出、エンジンの取り外しを行って下さい。

カムシャフトの取り外し

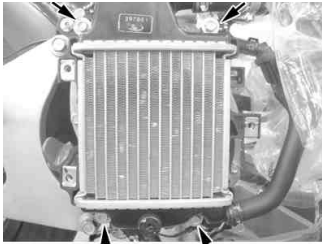
ウォーターポンプカバーボルトを緩め、ボルト3本を取り外す。



ボルト2本を取り外す。



ボルト4本を取り外す。



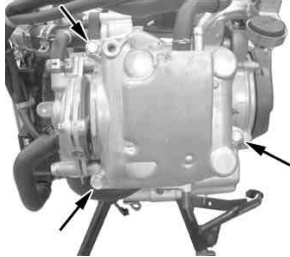
シリンダーのウォーターホースの接続を外す。



ラジエータ、ウォーターポンプを取り外す。



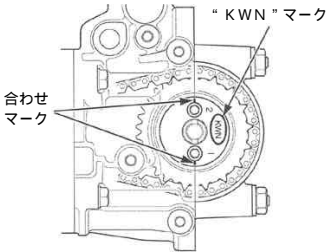
ボルト3本を外しシリンダーヘッドカバー、ラバーシールを取り外す。



クーリングファンを時計方向に回し、クーリングファンの“T”マークとラジエータベースの合わせマークを合わせる。

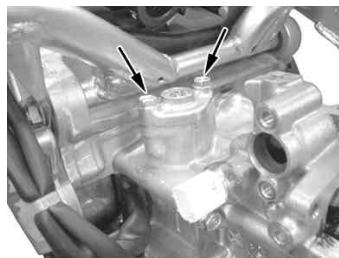


カムスプロケットの合わせマークがシリンダーヘッド端面に合っていて“KWN”マークがエンジン上側にあることを確認する。

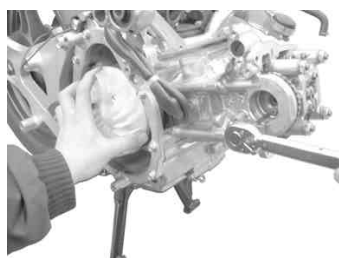
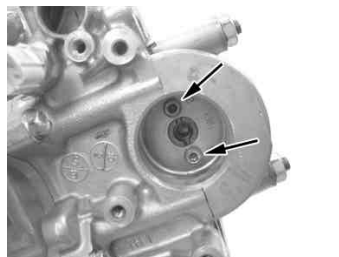


“KWN”マークがエンジン下側にある場合はクーリングファンを時計回りに一回転させる。

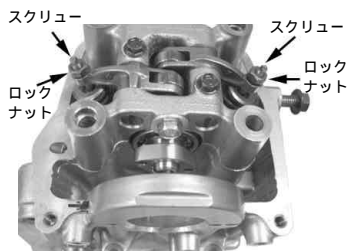
スクリーをを外しOリングを外す。ボルト2本を外しカムチェーンテンショナーを取り外す。



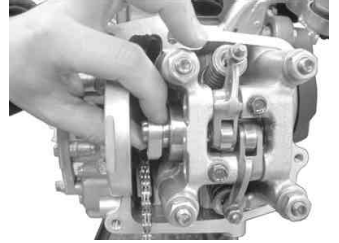
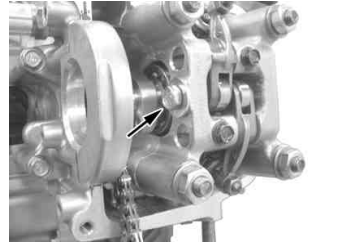
クーリングファンを押さえ、カムスプロケット取り付けボルトを取り外す。



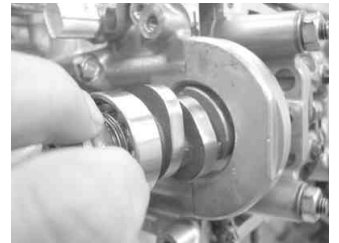
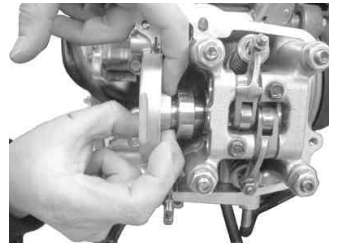
タベットアジャストロックナットを緩め、タベットアジャストスクリューを一杯まで緩める。



カムシャフトストッパーボルトを外しカムシャフトを抜き取る。



カムシャフトを下の写真の位置まで抜いたらカムシャフトを180回転させ抜き取る。



デコンプパーツの取り付け

デコンプパーツは取り付けなくても使用上問題は有りません。取り外し、取り付けにはベアリングブローヤやプレス等の特殊工具が必要となります。

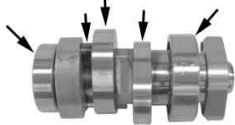
ノーマルカムシャフト、付属のカムシャフトのベアリングを外しノーマルカムに取り付けられたデコンプパーツを取り外す。取り外す際にスプリングによって部品が飛び出すので図を参考に部品を取り外す。



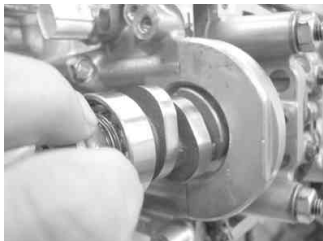
逆の手順で付属のカムに組み付け、ベアリングを圧入する。

カムシャフトの取り付け

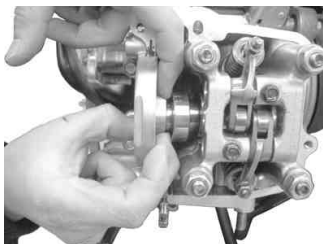
付属のカムシャフトのカム部、ベアリング部、取り付けた場合はデコンプ部にエンジンオイルを塗布する。



抜き取った逆の手順でカム山をシリンダーヘッド上部に向けてカムシャフトを取り付ける。



カムシャフトを下の写真の位置まで挿入したらカムシャフトを180°回転させ取り付ける。入り難い場合でもハンマー等は使用しない。

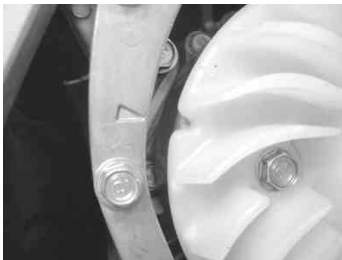


カムシャフトストッパーボルトを規定トルクで締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (1.0 kgf · m)



クーリングファンを時計方向に回し、クーリングファンの“T”マークとラジエーターベースの合わせマークを合わせる。



カムチェーンとカムスプロケットの歯面にエンジンオイルを塗布する。

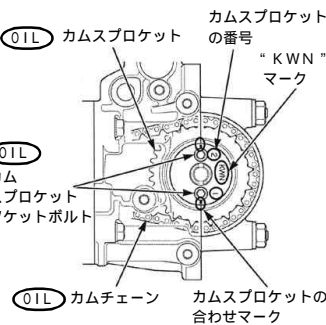
カムスプロケットをカムチェーンにセットし、カムシャフトに取り付ける。

カムスプロケットの合わせマークがシリンダーヘッド端面に合っていて“KWN”マークがエンジン上側になるようにカムスプロケットを取り付ける。

カムスプロケットソケットボルトのねじ部、座面にエンジンオイルを塗布し、カムスプロケットの番号順に指定トルクで締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 8 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (0.82 kgf · m)

ボルトがクランクケース内に落ちないように注意する事。



細いマイナスドライバーを使用しアジャスターを時計方向に回しカムチェーンテンショナーリフターを締める。



その状態でテンショナーをシリンダーに取り付け、ボルト2本を規定トルクで締め付ける

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (1.0 kgf · m)



細いマイナスドライバーを使用しアジャスターを反時計方向に回しカムチェーンテンショナーリフターを戻す。

少し回すだけで自動的に戻ります。Oリングにエンジンオイルを塗布し、カムチェーンテンショナーリフトの溝に取り付ける。

カムチェーンテンショナーリフターを規定トルクで締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 4 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (0.41 kgf · m)

クーリングファンを時計方向に2回転させクーリングファンの“T”マークとラジエーターベースの合わせマークを合わせた時にカムスプロケットの合わせマークがシリンダーヘッド端面に合っていて“KWN”マークがエンジン上側にあることを確認する。

ロッカーアームのタペットアジャスターを時計方向に回しカムチェーンテンショナーリフターを締める。タペットアジャスターとバルブステムエンドの間にシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせタペットアジャスターナットを締め付ける。

バルブクリアランス
 IN : 0.10 ± 0.02 mm
 EX : 0.24 ± 0.02 mm

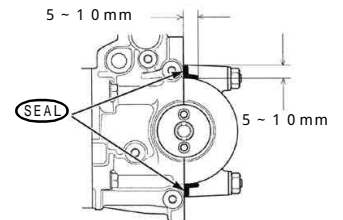


タペットアジャストスクリューロックナットのねじ部と座面にエンジンオイルを塗布する。シクネスゲージを差し込んだ状態でアジャストスクリューを固定し、ロックナットを規定トルクで締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (1.0 kgf · m)

タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転回した後で“T”マークと“O”マークタイミングマークを合わせる。タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればOK、狂っている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返して下さい。

下図の示す部分にシール剤(TB5211Cまたは相当品)を塗布する。



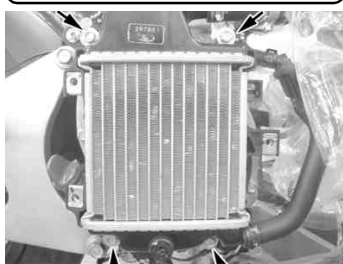
ラバーシール、シリンダーヘッドカバーを取り付け、ボルト3本を規定トルクで締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 (1.0 kgf · m)

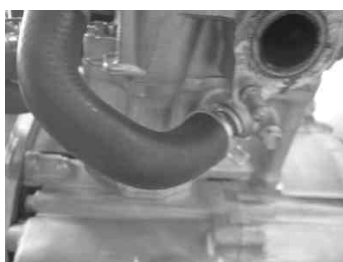
ラジエータ、ウォーターポンプを取り付ける。
シリンダヘッドとウォーターポンプ合わせ面に、シール剤(TB5211Cまたは相当品)を下図のように塗布する。
ウォーターポンプ/サーモスタットの溝部にOリング(新品交換推奨)を取り付ける。
ウォーターポンプシャフトとカムシャフトの接合部にモリブデンペーストを塗布する。
ウォーターポンプシャフトピンとカムシャフトの溝部を合わせながら、ウォーターポンプ/サーモスタットを取り付ける。

ボルト4本を締め付ける。

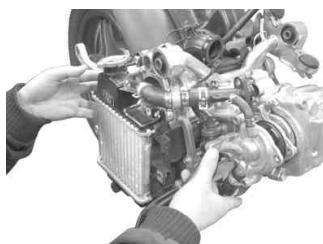
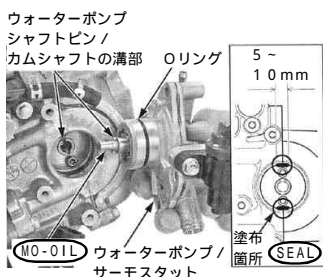
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



シリンダーのウォーターホースを繋ぐ。

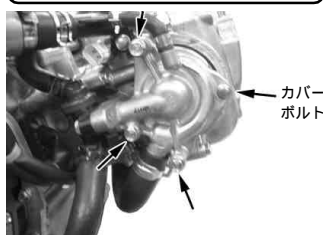


純正サービスマニュアルを参照し冷却水の注入、エア抜き、エンジンを取り付ける。



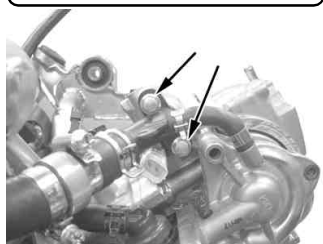
ボルト3本を締め付けウォーターポンプカバーボルトを締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



ボルト2本を締め付ける。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



株式会社 SPECIAL PARTS 式川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721 25 1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>